

答え 見学ワークシート (中学生向け)

～生物多様性にまつわる14の挑戦～



1の答え

③イノシシ

足あとやフン、食べあとなどはフィールドサインと呼ばれています。フィールドサインを見つければ、その森にどんな生き物がいるかが分かるんだよ！



小さなひづめを「ふくてい」と言います。人差し指と小指が退化したもので、斜面をずり落ちそうになった時のストッパーの役割があります。

2の答え



②調査

たとえば、国内の植生、動植物の分布、河川・湖沼、干潟、サンゴ礁などについての調査やモニタリングを実施しています。調査の結果は、ホームページでも見られるよ！

3の答え

①白い雪の上でも敵に見つからないようにするため

草が茂っている春や夏に比べて、冬は隠れる場所がないので白い毛に衣替えすることで敵から見つかりにくくなります。雪が降らない地域では、色が変わらないノウサギもいるよ。



4の答え

③a も b も正解

ナミテントウ、実は同じ種類でもたくさんの模様があるんだ。これを「遺伝子の多様性」といって、何かあった時に生き残れる確率が高くなるんだ。



5の答え

②リスの力を借りる

リスはドングリをあちこちに埋めて貯蔵します。でも、いくつか食べ忘れてしまったドングリからは新しい芽が育つのです。このように、動物を利用して種子や果実を遠くへ運んでもらう方法を、動物散布といいます。



6の答え

①食物連鎖

たとえば、「植物→ネズミ→ヘビ→ワシ」。それぞれの数量は、長い時間をかけてつり合いが取れていくんだ。でも、人間が生き物を持ち込んだり、殺したりすると、このバランスが崩れることも…



7の答え

①と②が正解

全ての外来種が悪影響を及ぼすわけではありませんが、ほかにも、農作物が荒らされたり、刺したり噛んだり人に危害を加えるケースもあるよ。

外来種：アライグマ



8の答え

①が正解

キツネの分布域が広がると、ライチョウの生息環境がおびやかされる恐れがあります。また、地球全体の平均気温が1.5～2.5℃以上あがれば、約20～30%の動植物に絶滅の可能性が高まると予測されています。たとえば、自分たちの身の回りにどんな影響が起こりそうかを考えてみよう！

9の答え

②約 175万種以上

まだ知られていない生物も含めると500万種～3000万種とも言われているんだ。



10の答え

自分の考えでOK!

たとえば、食べ物や木材などの資源、自然の中で「癒される～」というのもその1つ♪
多様な生物が関わりあう生態系から得られることのできる恵みによって支えられています。



11の答え

②生きものの分布を調べて、震災前後の生息状況を把握するため

この調査は、身近な生きもの20種に限定して調べています。実は、誰でも参加することができる調査なんだ!



12の答え

①カワセミのくちばし

カワセミが獲物をねらって水中へ飛び込むとき、水しぶきがほとんど立ちません。この点に着目して、カワセミのくちばしを模倣した新幹線が開発されました。このように、生きものの構造や仕組みをヒントに新しい技術が開発されることって、実は身近にとっても多いんだ。



13の解説

例えば、ツシヤママネコ、アマミノクロウサギ、コウノトリ、アオウミガメ、クニマス、キキョウなどが絶滅危惧種に指定されています。身近な生きものでは、平成25年2月にニホンウナギが絶滅危惧Ⅰ日に指定されました。このままでは、今当たり前に見られる生き物が、みんなが大人になる頃はいなくなっている、なんてこともあるかも!?

14の答え

自分の答えでOK!

ここまでのクイズを通して、少しでも「生物多様性」や「環境問題」に対して関心をもってくれたら嬉しいな!



おつかれさまでした!

ここに書いてくれたことを忘れずに! 一人ひとりが、いま自分にできることを考えて、行動に移しさえすれば、地球上のどんな問題だって解決できるはずさ!!

